

流山の歴史に関係する市外の史跡を訪ねてを「連絡の窓」に掲載したものを下記にまとめました。
各地域には歴史があり、その歴史を建造物等に残して後世に伝えている。素晴らしいことですね。
歴史は大切に残し、そして伝えることは現在生きている我々の使命です。

	項 目	掲載月	内 容
1	船戸陣屋跡を訪ねて	令和3年1月号	本多家の下総飛地領を管理するため船戸と藤心（現在柏市）に役所が置かれた場所である。
2	藤心陣屋跡を訪ねて	令和3年2月号	同上
3	七里ヶ渡し（布施河岸）を訪ねて	令和3年3月号	七里ヶ渡しは、利根川の渡船場で、布施と戸頭（取手市）の間に設けられ、下総と常陸を結ぶ要衝として栄えた。 布施河岸は、七里ヶ渡しに併設され、江戸時代の中頃に舟運で全盛期を迎えた場所である。
4	五兵衛新田を訪ねて	令和3年4月号	幕末の動乱期、金子家に新選組の一隊（当時は甲陽鎮撫隊）が半月にわたって滞在していた場所である。
5	近藤勇終焉の地を訪ねて	令和3年5月号	近藤勇は中山道板橋宿手前の平尾一里塚付近に設けられた刑場で新政府軍により処刑された。近藤勇の命日に近い日の日曜日に近藤家（宮川家）と土方家（佐藤家）が参列して供養祭が行われる。コロナ禍で中止となっていたが今年はどうか。
6	小塚原刑場跡を訪ねて	令和3年6月号	金子市之丞が44歳で小塚原刑場で処刑された。三千歳が建立したという片岡直次郎のお墓もある。安政の大獄により刑死した橋本佐内、吉田松陰、頼三樹三郎ら多くの志士たちが葬られている。高橋お伝、鼠小僧の墓もある。
7	陸軍糧秣本廠本所倉庫跡を訪ねて	令和3年7月号	糧秣本廠は東京府東京市深川区越中島にあったが、向島区本所にあった軍馬用の飼料倉庫が手狭になったことと、飼料の自然発火の可能性などがあったため、本廠の出張所として流山に出張所が設置された。
8	「中野牧の捕込」（鎌ヶ谷市）を訪ねて	令和3年8月号	江戸時代、牧の中に放牧されていた野馬を生け捕りにするために「捕込」（とっこめ）という土塁状の施設が設けられたが、中野牧の捕込が残っている鎌ヶ谷市を訪ねその規模や機能などを見てきた。

9	赤城神社本殿・拝殿について	令和3年9月号	「現地を訪ねて」はお休み。赤城神社は、流山市文化財審議会による本殿と拝殿の調査が平成25年から2年間にわたって行われた。その結果をまとめたもの。
10	真間の手児奈を訪ねて	令和3年10月号	流山になぜ「手児奈塔」があるのだろうと疑問を抱いていた。市内には4つの手児奈塔がある。絶世の美人であるがゆえに悲しい物語を秘めた「手児奈」に興味を抱いた。
11	小金城趾を訪ねて	令和3年11月号	戦国時代に小金城を構え、東葛地方一帯を治め、流山にあった名都借城、前ヶ崎城、花輪城、深井城を支配した高城氏ゆかりの本拠地である小金城趾と慶林寺、広徳寺を訪ねてみた。
12	根木内城跡を訪ねて	令和3年12月号	高城氏が小金城を築城して居城を移すまでの間、本拠地として使われた城である。6郭（くるわ）以上あったとされる廓のうちの一つと、土塁、空堀が保存されている。自然の川や崖や台地等の地形をうまく利用して難攻不落の城を造っていることがわかる。
13	龍源寺と近藤勇の生家を訪ねて	令和4年1月号	過去に訪ねた近藤勇のお墓がある龍源寺と生家をまとめた。
14	仏像について	令和4年2月号	「現地を訪ねて」はお休み。ガイド活動には活用されないが基礎知識として蓄えていただければと思いまとめてみた。
15	一茶の北総遍歴「布川」を訪ねて	令和4年3月号	小林一茶は、利根町（茨城県）との関わりも深く、布川の俳人古田月船や赤松宗旦の父恵（けい）など多彩な人々と交流があり、古田月船が住んだ布川とはどんな町なのか、どんな歴史があるのか訪ねてみた。
16	一茶の北総遍歴「取手と守谷を訪ねて」	令和4年4月号	一茶の句碑が建つ長禅寺（取手市）と親交を深めた鶴老の西林寺（守谷市）を訪ねてみた。